平成22年度中学校学習状況調査　第２学年　数学　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 考え方	観点 表現・処理	観点 知識・理解
中学校第１学年	A数と式	(2) アイウ 文字と式	・１次式の計算が正しくできる。	(2		○	
	B図形	(1) アイ 平面図形	・図形を対称性の観点から考えたり、とらえ直したりすることができる。	(7	○		
			・折り目が線分の垂直二等分線になることをとらえ、正しく作図することができる。	(10		○	
		(2) アイ 空間図形	・立方体における長さの関係を見取り図からよみとることができる。	(11		○	
		(3) ウ 図形の計量	・おうぎ形の面積から、中心角を求めることができる。	(8		○	
			・円柱の体積の求め方を理解している。	(12			○
	C数量関係	(1) アイウエ 比例・反比例	・比例のグラフから式を求めることができる。	(6		○	
			・反比例の関係をもとに、対応する値を求めることができる。	(5			○
中学校第２学年	A数と式	(1) アイウ 式の計算	・簡単な単項式の除法の計算ができる。	(1		○	
			・等式を目的に応じて変形することができる。	(4		○	
			・連続する３つの偶数の和が６の倍数になることを説明することができる。	(14	○		
		(2) アイウ 連立方程式	・二元一次方程式の解の意味を理解している。	(15			○
			・代入法を用いて、連立方程式を解くことができる。	(3		○	
	B図形	(1) アイ 平行線と多角形	・三角形の外角とそれととなり合わない２つの内角の和の関係を理解している。	(9			○
			・同位角の意味を理解している。	(13			○
		(1) アイウ 合同と図形の性質	・与えられた証明の方針にもとづき、証明することができる。	(20	○		
	C数量関係	(1) アイウ	・グラフから事象を読み取り、考えを数学的な表現を用いて説明することができる。	(16	○		
			・事象を数学的に解釈し、グラフと対応させて考察することができる。	(17	○		
			・具体的な事象における一次関数の関係を式で表すことができる。	(18		○	

移行・追加された内容（※領域及び内容は，新学習指導要領に対応している）

中学校１年	D資料の活用	(1) アイ 資料の散らばりと代表値	・平均値の正しい求め方を説明することができる。	(19	○		